

提案依頼書

【NaGaOKa オープンイノベーション事業の概要】

目的	<p>本事業は、次のプロセスを通じて、長岡市の地域特性や実情に適した課題解決策を導入し、市民生活の向上および行政事務の効率化、ひいては長岡版イノベーション※を推進することを目的とします。</p> <p>①長岡市が抱える地域課題や行政課題について民間企業等から ICT 等の技術を用いた解決アイデアを募集し、優秀な事業者を採択します。</p> <p>②採択された事業者には、長岡市の支援を受けながら製品・サービス等を用いた実証実験等を実施していただき、課題解決に資するかどうかを検証していただきます。</p> <p>③検証結果や市民・関係者の評価、費用対効果等に基づき、市は本格導入を検討します。</p> <p>※長岡版イノベーション 「変化の波を的確にとらえ、従前にとらわれず市民生活の向上と産業の活性化を実現する。」という基本方針のもと、様々な事業に取り組む。</p>
長岡市について	<p>新潟県のほぼ中央に位置し、市の中央部を日本一の長さと流量を誇る信濃川が流れる、守門岳から日本海まで11の地域が広がる人口約27万人の都市です。</p> <p>交通網としては上越新幹線や関越・北陸自動車道、寺泊港が整備され、首都圏や北陸・東北方面と本市を結んでおり、東京からは新幹線で約1時間30分の距離に位置しています。</p> <p>現在、「長岡版イノベーション」の推進に力を入れており、変化の波を的確にとらえながら、従前のやり方にとらわれず、市民生活の向上や産業の活性化の実現を目指しています。</p> <p>この NaGaOKa オープンイノベーションもそのための事業の一つであり、ほかにも市内の4大学1高専との連携やデザイン思考・新技術などの導入、起業支援によるビジネス創出、プログラミング教育による人材育成など、様々な取組を実施しています。</p>
募集テーマ	「スマートフォン等を活用した歴史を学ぶ環境整備」
事業の流れ	募 集 期 間 令和4年7月25日(月)～8月15日(月) 個別ヒアリング 令和4年8月下旬～9月上旬 採 択 通 知 令和4年9月上旬 実 証 実 験 等 令和4年10月～2か月程度 成 果 報 告 会 令和4年12月ごろ ※遠方の応募者に対するヒアリングはテレビ会議等も活用して実施します。
実証実験に要する 経費への補助	補 助 金 額 補助対象経費相当額(上限30万) 補 助 対 象 経 費 機器調達・改良費、機器運搬費・設置費、旅費・交通費、 施設等利用料、謝金、安全対策費、広告宣伝費
市の企業との 役割分担	【長岡市】 ・助成金の交付

	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験の実施方法等に関する助言 ・実証フィールドの提供、斡旋、地元調整およびモニター募集等への協力 ・事業に関するプロモーションへの協力 <p>【事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの運営、進捗管理および進捗報告 ・プロジェクトに係る経費の負担 ・製品・サービスの改良 ・プロジェクトから得られたデータ等の整理、検証および市への提供 ・事業実績報告書の提出 ・製品・サービスに起因して生じたトラブル等への対応
募集期間	令和4年7月25日（月）～8月15日（月）
審査項目	課題の理解度、提案の有効性、実現可能性、計画・体制、安全性
対象事業者	<p>①法人格を有する者</p> <p>②個人事業主</p> <p>※事業所の所在地は問わないが、電話・テレビ会議等随時連絡を取れる体制を作れること。</p> <p>※すでに提供可能な技術・サービス等を有する、または調達が可能であること。</p>

【テーマ スマートフォン等を活用した歴史を学ぶ環境整備】

<p>課題背景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悠久山公園は古くからお山の愛称で「市民の憩いの場」として親しまれています。 ・公園内には河井継之助を初めとしたさまざまな石碑や史跡など歴史的に価値のある文化財が多く存在しており、その石碑の歴史背景を知るとは学びの観点からも価値があり、とても貴重なものです。 ・しかし、刻まれた碑文は漢文等であるため、そのまま読むことは容易ではありません。 ・このような中、開園 100 周年を契機に公園の再整備に着手し、価値ある歴史的な資産を未来につなげていくため、現在「歴史を学ぶ環境整備」に重点的に取り組んでいます。 ・看板の更新、石碑の周辺整備などのハード面と合わせて、歴史散策に便利なツール（ルート案内、AR 表示、QR など）を取り入れ、児童・生徒の学習の場として、また、来訪者の利便性の向上を図り、来園者アップにつなげていきたいと考えています。
<p>解決したい課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史散策に便利なツール（ルート案内、AR 表示、QR など）を導入し、楽しく歴史を学ぶ環境を創出
<p>期待する サービス・技術</p>	<p>【児童・生徒、来訪者等が楽しく歴史を学べる技術・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生は学習の場において 1 人 1 台タブレット端末を持つ時代です。小・中学校等のカリキュラムに取り入れてもらい、端末を用いた歴史学習の場としたいと考えています。 ・また、一般の来訪者もスマートフォン等の端末を使い、歴史をテーマにした散策を楽しめるような場としたいと考えています。 <p>①スマートフォン等を用いた簡単ルート案内 (Must 要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を学ぶ散策コース（石碑巡り）の道案内を音声解説付き（多言語対応）等で行ってくれるもの。 <p>(Want 要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内だけでなく、石碑の簡単な紹介や道中の風景等の説明もあるとよい。 <p>②石碑の碑文の AR 表示 (Must 要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・碑文（漢文）を解説（現代語訳）したものを AR 表示する。 <p>(Want 要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代語訳を表示するだけでなく、例えば音声解説を入れたり、人物やキャラクターが出てきたり等、誰もが楽しく学べるような工夫をしていただきたい。 <p>※公園内には全 26 箇所の石碑が存在しますが、今回はそのうちの 2,3 箇所で実証</p>

	実験を行います。
想定フィールド	・ 悠久山公園の歴史散策路周辺を想定
市の協力事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 碑文の読下し、訳文等の用意 ・ 公園管理者、蒼紫神社等関係者との各種調整 ・ 利用者アンケート等の実施支援 ・ 市政だよりなど、市広報媒体による実証実験の周知広報
想定する実証実験と評価方法	・ 児童・生徒、来訪者から石碑のルート案内や碑文のAR表示を体験してもらい、アンケートやヒアリング等から有効性を検証する。
実証実験期間	令和4年10月～11月で必要な期間
実証実験後のフィールド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証実験の結果や利用者からの要望等に基づき、悠久山公園全体での本格的な利用を検討します。 ・ 今後無料Wi-Fiスポットを設置し、利用者が通信料を気にすることなく利用できるような環境を整えることで、サービスの提供が広がる可能性があります。